

直接會はない前から

水野 仙子

二三年前の或る日、本郷へ出ようと思つて友達と二人で壹岐殿坂を上つて行くと、坂を登り切つたあたりで、向うから歩いて来る一人の青年に出會ひました。擦れ違つてから、私はそつと友達の袂を引いて、

「今、擦れ違つたのは武者小路さんよ。」と言ひました。

「えッ？」と友達はびっくりして後ろをふり向きましたが、そこには無雜作にスタ／＼と歩いて行く一人の當り前な青年の後姿があるだけで、他にそれと領けさうな人も見當らなかつたので、友達は怪訝^{けげん}さうな念を押すやうな顔をして、

「今、擦れ違つた人ツてあの人でせう！」と言ひます。

「えい、だからあれが武者小路さんよ。」

「さう。」と友達は尚ほも腑に落ちないやうな案外なやうな顔をしてゐました。

こんな風に私は直接武者小路さんにお目にかゝらない前から、お顔をお見知りしてゐました。

どうしてだらうとよく／＼考へて見たら、何でも四五年前の或る日、有樂座に近代劇協會か何かの芝居があつて、私達も三

階の五十錢を奮發して見に行きましたのです。その折一等席に来て居られた氏を初めて連れの人に教へられたのでした。

武者小路さんは、三四人の白樺の人達とお出になつてゐたやうでした。何しろ遠くからではあり、細かな顔が幾つも／＼あるなかですから、なか／＼確かにあれが武者小路さんといふことを分り兼ねて居ますと、折よくだか折悪しくだか、武者小路さんは齒をおいぢりになるかなんかで、指を口の中にお入れになりました。それで早速、

「あ、今、口の中に指を入れた人がさうだ。」と言ふやうな譯で、初めてハツキリいたしました。

それからよく家の御近所にいらした岸田劉生さんのお宅へ遊びにお出になるらしいのを途中でお見かけするやうになりました。黒い縁の眼鏡をかけて、脊の高い、肩の聳えた、いつも氣取ツた氣のない無雜作さで、さツさと歩いて居られました。その後武者小路さんに直接お目にかゝつたのは、一昨年の夏丁度氏の「わしも知らない」が帝劇で上演になつた折のことでした。武者小路さんはその夏行つて居られた鶴沼から御家族と共に一寸上京されて、麴町のお兄さんのお宅にいらしたのです。

私達のお伺ひしたのは丁度雨の降る日で、應接室の窓の外に

おとなしく降つて居る雨の音を聴きながら、いろ／＼な繪を拜見したり、西洋の蓄音機でジプシイの歌などを聴かせて頂きました。

武者小路さんのお話しになるのは、大層早口で、言葉のおしまひに聲を落されたりするので、初めての私はよくお話を聞き漏らしました。調子も高い方ではなく、たゞ何處となく、ふくらみを持つて居て上品に思はれました。

その日のことで忘れられないのは、私達が餘念なくお話をし居ると、トン／＼と駈けて来る小さな足音がして、ドアがツイと開くと、六つばかりになる兄さまの御息がふいと現はれました。そして探しに來た小さいお嬢さんが見えなくて、見馴れない人達ばかりであつたものだから、一寸失望したやうな罪のない微笑をのこして、またばたと戸を閉め、トン／＼と駈けて行つてしまひました。その小さな顔が入口に現はれた刹那から消え去るまでの僅かな時間を、私は物に打たれたやうに瞶めて居ました。一言にして形容すれば、可愛いらしい中にも何處となく毅然とした品位が伺はれ、技巧や眞似の及ばないある面影が見られたのです。その時初めてはつきりと公爵華族といふ意識が私の頭に上り、何と言つても争はれないものだといふやうな氣がしました。そしてそのお子さんのお顔は、大層

よく武者小路さんに似て居られると思ひました。

その後間もなく武者小路さんは鵜沼を引き佛つて千駄ヶ谷へお移りになりました。私の家とはツイ鼻の先だつたものですから、其後も時々お邪魔に上りましたが、どちらかといへば私はより多く奥さんの方へお親しくして、武者小路さんには餘りお近づきませんでした。それはお仕事のお邪魔をしてはといふ遠慮と、まだ何にも自分の物を持つて居ない――現はし得ない自分を恥づる心から、着々と自己の道を開拓して行く同時代の尊敬すべき先輩に對して、何となく氣がひけてならないのでした。

たゞ武者小路さんの印象としてふと頭に浮んで來るのは、それに直接關係がないやうだけれど、あの麹町のお宅でちらと見た小さい甥御さんの顔と、それから千駄ヶ谷のお家の書齋に坐つて居られる或日の氏のお姿とです。其時私は黙つて繪を拜見しながら、他のお友達とぼつ／＼話して居られるのに耳を傾けて居ましたが、其日は今迄にない氏の落着きと、男性的な鷹揚さが感じられて、是まで單に無雜作な、どちらかといへばそつつかしい方として映つてゐた印象に、或人格の深味を添へられたやうな氣がしました。そしてそれを、氏の爲めにも、また自分達の爲めにも大變嬉しい事に感じられたのでした。

底本…「新潮」大正六年六月一日發行

テキスト入力…小林 徹

公開…令和四年四月九日

[リンク…水野仙子作品年譜](#)

[水野仙子ホームページ](#)